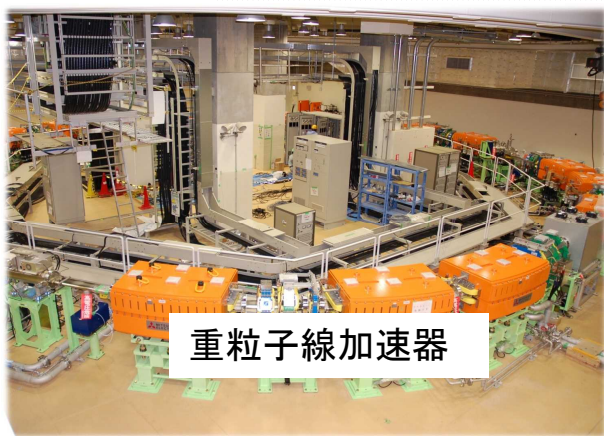


～2人に1人ががんにかかる時代～

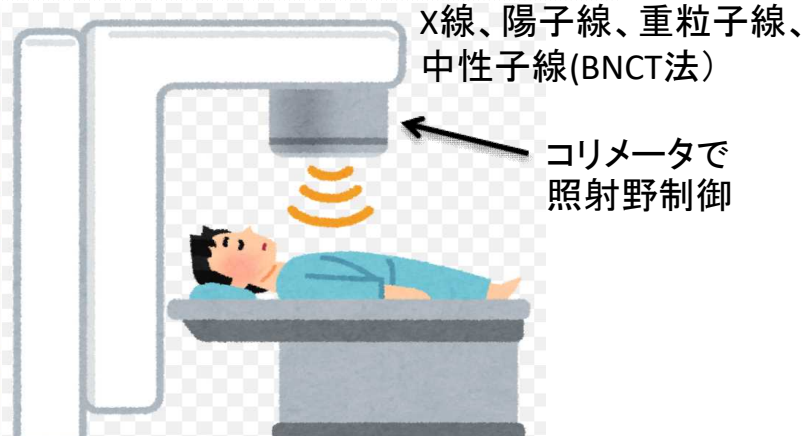
# 放射線によるがんの診断と治療

講師：群馬大学重粒子線医学研究センター  
准教授 鳥飼 幸太氏

1979年福岡県生まれ。九州大学大学院博士課程  
高エネルギー加速器研究機構、放射線医学総合研究所を経て、  
群馬大学重粒子線医学研究センター准教授  
群馬大学医学部附属病院システム統合センター副センター長 医学物理士  
2006年文部科学大臣賞、2008年21世紀発明賞受賞



重粒子線加速器



X線、陽子線、重粒子線、  
中性子線(BNCT法)

← コリメータで  
照射野制御

**概要** 1895年のX線発見から100年余が経過し、放射線は医療に欠かせない道具となっている。CT装置は救急医療やがん医療での診断精度を飛躍的に向上させ、PET装置は腫瘍位置や活動の描出を可能にした。治療においては、診断画像による精密小線源治療、X線外部照射治療の時代となり、素粒子物理学の応用として難治性がんに対する陽子線治療、重粒子線治療にまで技術が進んでいる。この講演ではがんの診断と治療の歴史を紐解きながら、放射線によるがんの診断と治療の今について紹介する。

日時 **8月30日(日)** 13:30 - 15:00 (開場 13:00)

会場 **佐野市中央公民館3Fホール**

次代を担う若い人の参加も期待します。

申込み 受講料(500円)を添えて佐野市中央公民館、田沼中央公民館、葛生地区公民館へお申し込みください。当日受付も実施しています。  
※FAX、メールでの申込みも受付します。  
その場合は、受講料を当日お支払ください。

定員 100名程度

問合せ 電話 0283-24-5771  
FAX 0283-21-5851  
メール kouminkan@city.sano.lg.jp

----- キリトリ線 -----

住所	TEL ( )
氏名	

企画 佐野市民大学企画運営スタッフ  
主催 佐野市・佐野市教育委員会